

2019年6月1日 ~ 2019年6月7日

2019年6月11日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は市場休場日が多く、「閑散に売りなし」との環境下で、ロシアからのミサイルシステム購入延期観測と米国からの経済制裁の回避への期待感が持続し、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに小幅に上昇しました。5月のインフレ率が市場予想を下振れたこともあり、国債金利は低下しました。

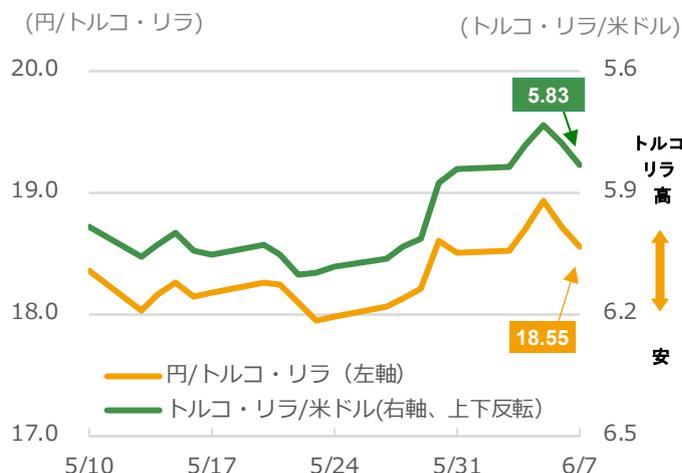
今週の見通し

対米関係では、引き続きロシアからのミサイルシステムの購入問題が懸案事項となっています。6月26日~27日（ブリュッセル）にかけて、米国とトルコの国防長官がNATO（北大西洋条約機構）の会合でこの問題について議論すると報道されています。エルドアン大統領とトランプ米大統領が協議する予定の今月末のG20（主要20カ国・地域）首脳会合まで市場の期待感は持続すると考えていますが、依然として楽観視はできません。

目先はこれまでトルコ当局が導入した様々な通貨安対策が功を奏し、トルコ・リラが積極的に売られる環境にはないと考えますが、6月23日（現地）に予定されているイスタンブール市長選挙の再選挙も近づいています。今週のトルコ・リラは、政治的ヘッドラインに注意する必要がありますと考えています。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年5月10日~2019年6月7日)



*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年5月10日~2019年6月7日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。